SONIC CITY

2023 SERIES

2:00pm, January 13th (SAT),
2024

141

ソニックシティ 2023 シリーズ　第 141 回さいたま定期演奏会
2024年 1月13日（土）午後２時開演／ソニックシティ　大ホール

第141回さいたま定期演奏会　日本フィルハーモニー交響楽団

チャイコフスキー：**歌劇《エフゲニー・オネーギン》より「ポロネーズ」**（約4分）
Pyotr TCHAIKOVSKY: 'Polonaise' from "Eugene Onegin"

チャイコフスキー：**ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.35**（約33分）
Pyotr TCHAIKOVSKY: Concerto for Violin and Orchestra in D-major, op.35

～休憩（15分）～

J.シュトラウスⅡ世：**ポルカ《ハンガリー万歳》op.332**（約3分）
Johann STRAUSS II: Éljen a Magyar, op.332

ブラームス：**ハンガリー舞曲第5番**（約3分）
Johannes BRAHMS: Hungarian Dance No.5

J.シュトラウスⅡ世：**ワルツ《南国のバラ》op.388**（約9分）
Johann STRAUSS II: Rosen aus dem Süden, op.388

レスピーギ：**リュートのための古風な舞曲とアリアより「シチリアーナ」**（約4分）
Ottorino RESPIGHI: 'Siciliana' from "Antiche danze ed arie per liuto" suite No.3

J.シュトラウスⅡ世：**喜歌劇《こうもり》序曲**（約9分）
Johann STRAUSS II: "Die Fledermaus" Overture

指揮：**川瀬賢太郎**
Conductor: KAWASE Kentaro

ヴァイオリン：**岡本誠司**
Violin: OKAMOTO Seiji

コンサートマスター：**扇谷泰朋**［日本フィル・ソロ・コンサートマスター］
Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ：**菊地知也**［日本フィル・ソロ・チェロ］
Solo Violoncello: KIKUCHI Tomoya, JPO Solo Violoncello

主催：公益財団法人埼玉県産業文化センター／さいたま市／公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
後援：埼玉県／埼玉県教育委員会／さいたま市教育委員会／埼玉県吹奏楽連盟
協賛：パレスホテル大宮
特別協力：盆栽 清香園

ライブ配信：神川町　会場：神川町中央公民館
本日の公演はメンバーズTVUチャンネルでライブ&アーカイブ配信をしております。
1000円で3ヶ月、何度でもご視聴いただけます。

表紙作品提供　埼玉県立新座総合技術高等学校 デザイン専攻科　進藤 珠妃
作品名「Triangle」　作者コメント「音の重なりを三角形で表現しました。 紺色を全体に使い、三角形のフチに金や白を使用し、シックなイメージになるようにしました。」

【アンケートのお願い】今後のソニックシティ主催公演の参考のため、アンケートへの協力をお願いいたします。アンケートにお答えいただきました方の中から抽選で3名様に本日の出演者・川瀬賢太郎氏、岡本誠司氏のサイン色紙をお送りいたします。以下のQRより、スマートフォン・タブレットからお答えください。(所要時間約5分)

▶公演終了時、カーテンコールの写真撮影が可能になりました。撮影はスマートフォン・携帯電話のみ、自席にご着席のまま行い、動画の撮影はご遠慮ください。是非、コンサートの感動を多くの方と分かち合っていただければと存じます。（SNS等への投稿の際は、#ソニックシティの追加をお願いします）

写真提供：名古屋フィルハーモニー交響楽団

指　揮：川瀬 賢太郎

1984年東京生まれ。2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻(指揮)を卒業。これまでに指揮を広上淳一などの各氏に師事。2006年10月、東京国際音楽コンクール<指揮>において2位(最高位)に入賞。2011年4月には名古屋フィルハーモニー交響楽団指揮者に就任、2014年4月より神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者に就任(2022年3月末まで)。卓越したプログラミングを躍動感あふれる演奏で聴衆に届けている。

海外においてもイル・ド・フランス国立オーケストラとの共演や、ユナイテッド・インストゥルメンツ・オヴ・ルシリンと共演。

オペラにおいても、細川俊夫作曲「班女」、モーツァルト作曲「フィガロの結婚」、ヴェルディ作曲「アイーダ」などを指揮、目覚ましい活躍を遂げている。

2023年4月より名古屋フィルハーモニー交響楽団第6代音楽監督に就任。

現在、オーケストラ・アンサンブル金沢パーマネント・コンダクター、札幌交響楽団正指揮者、三重県いなべ市親善大使。2015年渡邉暁雄音楽基金音楽賞、2016年第14回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第26回出光音楽賞などを受賞。東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)特任講師。

©S.Ohsugi

ヴァイオリン：岡本 誠司

第19回J.S.バッハ国際コンクールのヴァイオリン部門にてアジア人で初めて優勝し注目を集め、2021年ARDミュンヘン国際音楽コンクールヴァイオリン部門第1位入賞するなど受賞歴多数の実力派。

現在はクロンベルク・アカデミーに在籍し、ベルリンにて研鑽を積みながら、日本およびヨーロッパでソロはもちろん室内楽など精力的な演奏活動を行っており、昨年からは後進の指導にもあたっている。

また、反田恭平が結成したJapan National Orchestraではコンサートマスターを務めている。

これまでにベルギー国立管弦楽団、サンクトペテルブルク交響楽団、読売日本交響楽団、東京公等国内外のオーケストラとの共演を重ねている。

東京藝術大学を卒業後、ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学の修士課程修了。

2022年文化庁長官より表彰。第31回出光音楽賞を受賞。ヴァイオリン はNPO法人イエロー・エンジェルよりM.ゴフリラー(1702年)の貸与を受け、㈱日本ヴァイオリンより名器貸与特別助成を受けている。

https://seijiokamoto.net/

願 ～現実からの悲願　未来への願望～

新年を迎え、今回の演奏会は様々な曲目を揃えた百花繚乱の内容となっている。しかも取り上げられるのは、19世紀を中心に生まれた名曲の数々。華やかな盛り上がりを見せる一方で、様々な翳を抱えつつあった当時のヨーロッパに生まれた名曲の数々とは？

チャイコフスキー作曲 『ヴァイオリン協奏曲』

ロシアの作曲家チャイコフスキー（1840-93）が1878年に完成した作品。結婚生活が短期間で破綻する中、人生最大のスランプに見舞われた彼が、徐々に創作力を回復しつつあった時期に当たる。

ただしこの曲がウィーンで世界初演された際には有名批評家の批判を受けたり、その後も演奏不可能のレッテルを貼られたりすることもあった。それもこれも「情」を前面に押し出し、チャイコフスキーの代名詞ともいえる、底なしの憂鬱とそこから生まれるやるせない憧れをそこかしこに溢れさせた前代未聞のヴァイオリン協奏曲だったからである。

チャイコフスキー作曲　歌劇『エフゲニー・オネーギン』より　ポロネーズ

『エフゲニー・オネーギン』は、1877年から78年にかけて書かれた歌劇。プーシキンの同名の小説を基にしたもので、自らの高いプライドゆえに、自分に思いを寄せる美しい少女や親友を次々と失い、孤立と絶望の淵に立たされる若い男性貴族が主人公となっている。

特に有名なのが第3幕の幕開け、貴族の舞踏会を描いたシーンで、いわば前奏曲がわりに演奏される『ポロネーズ』。その華やかな響きとは裏腹に、全てを失った主人公が、社交界に一人寂しく姿を現す場面で鳴り響く。何とも皮肉なダンスの調べである。

J.シュトラスⅡ世作曲　ポルカ『ハンガリー万歳』

「ワルツ王」として有名なシュトラウスⅡ世（1825-99）。オーストリアの都ウィーンを本拠地に数々の愉しいダンス音楽を作り続けたが、その裏柄には彼が生きた困難な時代の歩みも刻み込まれている。

『ハンガリー万歳』もその1つで、1869年に作られている。プロイセンとの戦いに敗れたオーストリアがハンガリーの主権を認める新たな国「オーストリア＝ハンガリー帝国」を建国した、その2周年を祝ってハンガリーに捧げられた。

ブラームス作曲 『ハンガリー舞曲第5番』

シュトラウスⅡ世の同時代人であり、彼とも交友があったブラームス（1833-97）。「深刻なクラシック音楽の王道」の象徴のように思われがちだが、巷の音楽にも大きな興味を示した。

1869年にピアノ連弾＝音楽愛好家が家庭で楽しむことを意図して出版された『ハンガリー舞曲集』（1869年出版）もその1つで、ハンガリーのジプシー（ロマ）の伝統音楽をブラームスが独自の視点で編曲したものとなっている。

J.シュトラスⅡ世作曲　ワルツ『南国のバラ』

※詳しくは「コラム」をお読みください。

レスピーギ作曲 『リュートのための古風な舞曲とアリア』より　シチリアーナ

イタリアを代表する音楽家の1人レスピーギ（1879-1936）。彼は、「進歩進化」が声高に気唱えられた19世紀の音楽界の動向とは異なり、16世紀から18世紀にかけて生まれた古い音楽にも大きな興味を示し、それを自らの創作活動の糧とした。

元々リュートのために書かれた古の曲を、オーケストラのために3度にわたって編曲し、組曲として発表した『リュートのための古風な舞曲とアリア』もその1つ。「シチリアーナ」は、1931年に作られた3番目の組曲の中の3曲目に位置し、弦楽合奏で演奏される。

J.シュトラスⅡ世作曲　オペレッタ『こうもり』 序曲

シュトラウスⅡ世の代表作であり、ウィンナ・オペレッタの代名詞ともいえる『こうもり』（1874年初演）。中でも序曲は、劇中で繰り広げられる舞踏会のシーンに登場する華やかなワルツを中心に、緩急自在に様々な表情の旋律が繰り広げられる名曲として有名だ。

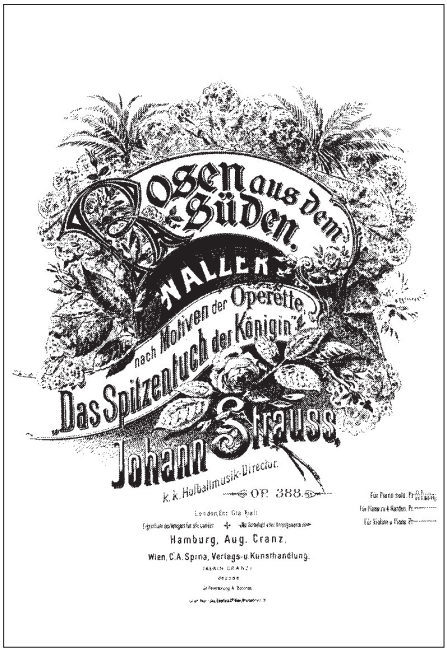
しかも重要なのは、この序曲が楽しさ一辺倒ではなく、愉悦の陰に憂愁をそっと忍ばせてあるという点である。ハプスブルク家の長年にわたる栄光の支配の裏側で、内政や外交、経済や軍事に大きな問題を抱えつつあった当時のオーストリアの空気をそのまま宿したかのような内容で、だからこそ今の瞬間を最高に楽しもうという心意気が、隅々にまで溢れている。

曲目解説：小宮正安

音楽と植物 その❻

オーケストラと盆栽という、世界でも類を見ないコラボレーションがおこなわれている「さいたま定期演奏会」。2023／24年のシーズンでは、音楽と植物をテーマとしたコラムをお楽しみください！

「南国のばら」



ワルツ『南国のばら』の初版のピアノ編曲譜

今回はコラムのテーマ、華やかな新年の幕開けにふさわしい「ばら」である。しかもそこに「南国の」とつくと、華やかさがいや増すというもの。何しろ冬を中心に、一年の半分近くを分厚い雲に覆われるヨーロッパの北半分（その中にはオーストリアのウィーンも含まれる）にあって、南国＝イタリアは今もなお憧れの地であるからだ。

というわけで、シュトラウスII世も格別の思いをもってこのワルツを作曲した…とも思いたくなるが、事情は随分と異なる。実のところ彼は1871年を機に、それまで培ったダンス音楽のノウハウを駆使してオペレッタの世界に進出するのだが、以降は自作のオペレッタの中に登場する楽曲をつなぎ合わせ、それを新作のダンス音楽として発表することが多くなっていった。いわば作曲作業の省エネ化であると同時に、新作のオペレッタを広く告知するための経営戦略でもあった。

ワルツ『南国のばら』もその1つで、シュトラウスII世の第7作目のオペレッタ『女王のレースのハンカチーフ』(1880年初演）に登場するメロディを基としている。彼が作ったほとんどのオペレッタの例に漏れず、当オペレッタそのものは忘れられてしまって久しいが、そこから編み出されたダンス音楽はその後も人気を博し続けており、『南国のばら』もその一例に他ならない。

題名は、このワルツがイタリア国王ウンベルトI世（1844-1900）に献呈されたことに由来する。経緯としては、ウンベルトI世が『女王のレースのハンカチーフ』を気に入っていることを伝え聞いたシュトラウスII世が、同作品に基づいて新たにワルツを作り、イタリアを想起させる題名に仕立て上げた。オペレッタに登場する三重唱『野ばらが花咲くところ』が、当ワルツにも採りいれられている点も、この題名が誕生した背景にはある。

ちなみにイタリアは、19世紀半ばまでオーストリアの支配下に置かれていたところを独立した、という経緯もあり、両国の外交関係はけっして良好ではなかった。だがそうした状況の中、ワルツ『南国のばら』は、文字通り音楽を通じた親善外交だったといえる。ちなみに「シュトラウス」という苗字には、ドイツ語で「花束」という意味もある。

文章：小宮正安

第 141 回さいたま定期演奏会に寄せて

この度は第 141 回さいたま定期演奏会の開催を心よりお慶び申し上げます。

今回、ステージ左側には樹齢約 150 年の寒椿（カンツバキ）を展示させて頂きました。椿といえば 2 月～ 4 月にかけて花を咲かせる樹木ですが、寒椿は 11 月～ 2 月を花期とし、一般的な椿と比べて花びらの多いふっくらとした花を咲かせます。葉と鉢の色合いを揃え、そのなかで開く紅色の花が、とても美しい逸品でございます。

右側には、樹齢250年の五葉松（ゴヨウマツ）を展示させて頂きました。本作は五幹という、幹が５つに分かれた樹形に作られております。奥行きが捉えやすく、陰影に富んだ姿が魅力的な作品です。それぞれの幹が左側に吹き流れる様は、強風に煽られながら長い年月を忍んだ、松の力強さを感じさせます。

オーケストラの奏でる音色と、盆栽の景色の調和をお楽しみいただけましたら幸甚に存じます。

盆栽清香園　山田寅幸

清香園 history

江戸末期、庶民の文化としての園芸が花開いた時代、初代庄之助が現在の台東区根岸のあたりに創業いたしました。
清香園の屋号の由来は、梅の盆栽を多く手がけていたことから「清く香る園」といたしました。
二代目初五郎は、薄鉢で竹の盆栽を作ることを得意とし、三代目釜次郎は石付き盆栽を得意としました。この釜次郎の代で太平洋戦争の戦災を逃れて大宮の盆栽村に移住。現在は、四代目の登美男が園主で、盆栽種全般を扱っております。さいたま市北区の盆栽町（通称盆栽村）には毎日、海外からのお客様が訪れています。

お客様に一番身近な「窓口」としての専門店を目指して

盆栽園という枠組みに捉われず、
お客様に寄り添う専門店を実現していきます。

通学型！

「ソニックシティ・クラシック音楽の学び舎」 開講します！

ベーシッククラス
～オーケストラを100倍楽しむ方法～

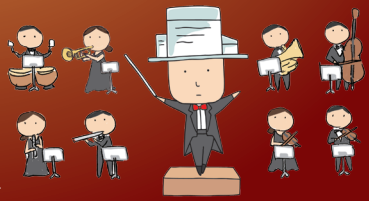
「学校では教えてくれない、クラシック音楽のなぜ？」から紐解き、クラシック音楽の基礎知識を楽しく身に付けませんか？この講座を修了した方は、クラシック音楽をより深く楽しめること間違いなし！

クラシック音楽の学び舎・校長　小宮正安

ヨーロッパ文化史・ドイツ文学研究家。音楽評論家。横浜国立大学教授。東京大学文学部を経て同大学院へ。人文社会科学研究科 欧米系文化研究 博士課程修了。クラシック音楽を多角的に、深く、楽しく、明るく語るスペシャリスト。ソニックシティ・シリーズにて、プログラム・ノートやコラムを担当。ソニックシティホール・メンバーズ向けのイベントや、動画等に出演。オリジナリティあふれる味わい深い講義を多数開催。

［実施日程・授業のテーマ］※毎月火曜日の 18:30 開講

月１回、火曜日の夜に開講します！



2024 年

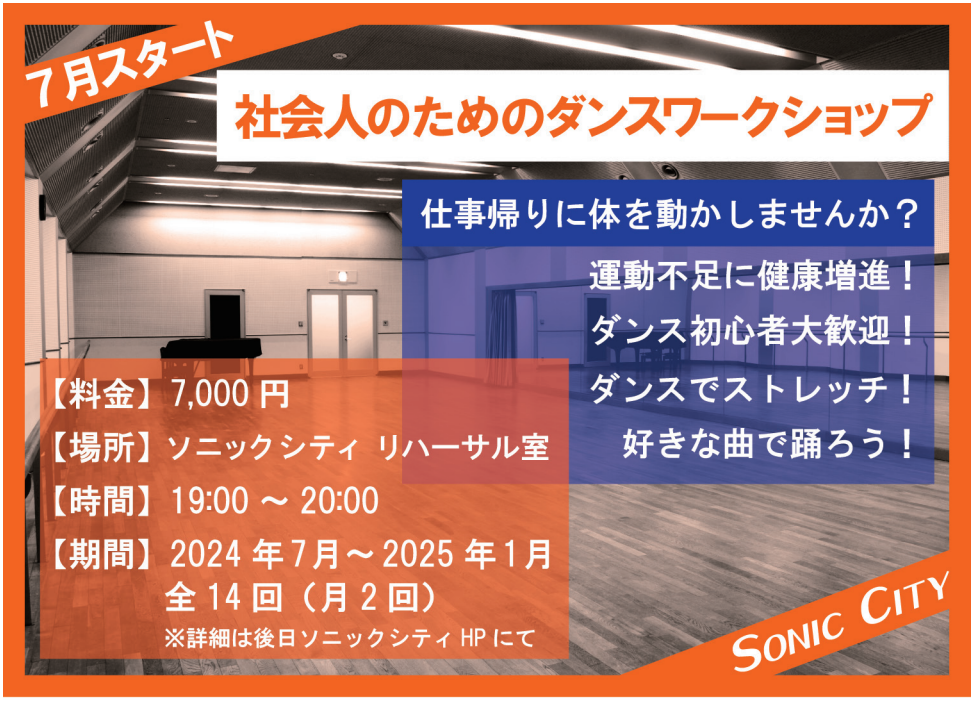
第一回　４月　９日㈫「オーケストラ」って何？（1）成り立ちと変遷
第二回　５月 14 日㈫「オーケストラ」って何？（2）楽器の不思議から探る
第三回　６月 11 日㈫ 指揮者をめぐる謎に迫る（1）
第四回　７月　９日㈫ 演奏者をめぐる謎に迫る（2）
第五回　９月 10 日㈫「演奏会の作法」が生まれた理由
第六回 10 月　８日㈫「クラシック」って何？（1）16~18 世紀篇
第七回 11 月　５日㈫「クラシック」って何？（2）19~21 世紀篇
第八回 12 月 10 日㈫ オーケストラ演奏会の楽しみ方

2025 年

第九回　１月 14 日㈫ オーケストラ演奏の様々な形（1）オペラやバレエの場合
第十回　３月 11 日㈫ オーケストラ演奏の様々な形（2）コンサートホールを飛び出して

［会場］ソニックシティビル９階　906 会議室　［回数］計 10 回

【参加費】１万円（10 講義分）
【応募方法】募集期間　2024 年２月 19 日㈪～３月 15 日㈮　申し込み方法はインターネットとお電話になります。
インターネット :https://www.sonic-city.or.jp/（※チケット予約画面からご購入ください。）
TEL:048-647-7722（9:00~17:00 平日）



Sonic Dance Stage 2024

越ヶ谷高校女子ダンス部
伊奈学園総合高校ダンス同好会花軍
浦和商業高校ダンス部
越谷北高校応援部 Brilliant
栄北高校ダンス部
川口市立高校ダンス部
久喜工業高校ダンス同好会 Techniqs
坂戸高校ダンス部 FLAPP
朝霞西高校ダンス部
上尾南高校ダンス部
草加東高校ダンス部
大宮商業高校ダンス部
ヒューマンキャンパスのぞみ高校
杉戸高校ダンス部 Departure
西武学園文理中学・高校ダンス部

2024年
1月20日（土） 14:00開演
@ソニックシティ大ホール

全席自由（Ys:19 歳以下）

【会員発売】
10 月 19 日（木）
【一般発売】
10 月 26 日（木）

一般 3,000円
Ys 2,000円

【主催】（公財）埼玉県産業文化センター
【後援】埼玉県，埼玉県教育委員会，さいたま市，さいたま市教育委員会
【協力】（株）アルフォ

SONIC CITY

西武学園文理中学・高校

坂戸高校

上尾南高校

朝霞西高校

杉戸高校

越谷北高校

川口市立高校

大宮商業高校

草加東高校

越ヶ谷高校

栄北高校

浦和商業高校

ヒューマンキャンパスのぞみ高校

久喜工業高校

伊奈学園総合高校

Sonic Dance Stage

ソニックダンスステージとは
埼玉の高校ダンス部が
生演奏でパフォーマンスをする
ダンスイベント

【MC】
パイレーツオブマチョピアン

【Live Music】
Music Salon 音雫
～おとしずく～

【Guest】
Saitama
Old-School
DANCE CLUB

SONIC CITY
SONIC
CITY
SERIES
2024
Japan
Philharmonic
Orchestra
Concert
vol.143-148
SCS
2024
日本フィルハーモニー交響楽団さいたま定期演奏会2024
開催場所：ソニックシティ大ホール
第143回｜5月17日㊎19時開演｜指揮：井上道義／チェロ：佐藤晴真
第144回｜7月6日㊏14時開演｜指揮：鈴木優人／サクソフォン：上野耕平
第145回｜9月13日㊎19時開演｜指揮：原田慶太楼／ヴァイオリン：辻彩奈
第146回｜11月9日㊏14時開演｜指揮：小林研一郎／ピアノ：小山実稚恵
第九演奏会2024｜12月13日㊎19時開演｜指揮：下野竜也／ソプラノ：富平安希子
アルト：小泉詠子／テノール：糸賀修平／バリトン：宮本益光／合唱：埼玉第九合唱団
第147回｜1月11日㊏14時開演｜指揮：沼尻竜典／ヴァイオリン：三浦文彰
第148回（バレエ公演）｜3月15日㊏14時開演｜指揮：梅田俊明／バレエ：牧阿佐美バレエ団
チケット詳細はこちら▶

日本フィルハーモニー交響楽団
カーチュン・ウォン 2024 年 1 月演奏会

■ 第 394 回横浜定期演奏会
2024 年 1 月 20 日（土）17：00
横浜みなとみらいホール

■ 第 403 回名曲コンサート
2024 年 1 月 21 日（日）14：00
サントリーホール

ピアノ：上原彩子
伊福部昭：舞踊曲《サロメ》より
「7 つのヴェールの踊り」
ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲
ベルリオーズ：幻想交響曲

S¥8,000 A¥6,500 B¥6,000 C¥5,000
P¥4,000（1/20 完売）Gs（65 歳以上）
¥4,000（1/21 のみ）Ys（25 歳以下）¥1,500

■ 第 757 回東京定期演奏会
2024 年 1 月 26 日（金）19：00
27 日（土）14：00
サントリーホール

ピアノ：児玉麻里*
ピアノ：児玉桃*

チナリー・ウン：グランド・スパイラル
コリン・マクフィー：タブー・タブーアン*
プーランク：2 台のピアノのための協奏曲*
ドビュッシー：交響詩《海》

S¥8,000　A¥6,500　B¥6,000　C 完売　P¥4,000
Ys（25 歳以下）¥1,500

＊＊

お問い合わせ　日本フィル・サービスセンター　TEL：03-5378-5911（平日 10 時 -17 時）
お申込み　e チケット♪　https://eticket.japanphil.or.jp

第 142 回さいたま定期演奏会

2024 **3.16** SAT

13:20 開場 14:00 開演

指揮：**角田鋼亮**　バレエ：**牧阿佐美バレエ団**

曲目：チャイコフスキー／バレエ「白鳥の湖」 ソニックシティ特別版

会場：**ソニックシティ大ホール**

■ **チケット価格（単独券）**

S:7,000 円　A:5,500 円　B:4,000 円　Ys:2,000 円（19 歳以下、A 席 or B 席）

ホールメンバーズなど、各種割引あり。

～チケット取扱い～

ソニックシティネット予約　https://www.sonic-city.or.jp/

＊ネット予約のご利用には、初めに利用登録が必要です。

ソニックシティホール　048-647-7722（平日）